

山本真吾監修

「小学生のまんが敬語辞典」

佐藤 信 一

文化庁の「敬語の指針」で、従来「謙讓語」とされていたものが、「謙讓語Ⅰ」と「謙讓語Ⅱ（丁寧語）」にされ、従来「丁寧語」とされていたものが、「丁寧語」と「美化語」に区分されたことは記憶に新しい。ただ「Ⅰ」、「Ⅱ」と、まるで化学記号のように見える分類に違和感を感じるのは、私一人ではあるまい。それが「まんが」というメディアを通じて、平易に語られていたのである。目次を掲出する。

はじめに

この辞典の組み立てと使い方

おうちの方へ

敬語って、なんだろう？

第1章五つの敬語

尊敬語って、なんだろう？

謙讓語Ⅰって、なんだろう？

謙讓語Ⅱって、なんだろう？

丁寧語って、なんだろう？

美化語って、なんだろう？

第2章敬意表現

あいさつしよう

思いやり語を使う

第3章敬語を使ってみよう

手紙を書こう

メールを書こう

敬語は大人への第一歩

基本敬語一覽表（1）

基本敬語一覽表（2）

おさらいドリルのポイント

おさらいドリル

さくいん

内容は、サスケくんという少年が、魔女先生との対話による敬語の習得を通じて、成長して行くというもので、このように書くと無味乾燥であるが、とにかく面白い。「敬語は、気持ちを伝えることば」（19頁）と規定し、尊敬語、謙讓語Ⅰでは、「くっつけ型」と「とりかえ方」があり、謙讓語Ⅱには「とりかえ型」のみであるとす。この「くっつけ型」、「とりかえ方」というのはこの本の造語で「くっつけ型」とは「動作を表すことばに、尊敬語のパーツをくっつける形。たとえば「話す」に「お」になる」をくっつける」（35頁）ことであり、「とりかえ型」とは「動作を表すことばなどを丸ごと敬語専用のことばにとりかえてしまう形」（同頁）であると定義する。敬語を補完するものとして、相手の気持ちを大事にする「思いやり語」を認定する（104頁）。「いつも相手の気持ちを第一に考えるのが、「思いやり語」の基本」（107頁）なのである。とりわけ「メールを

書こう」で電子メールでの敬語の在り方にも言及されていたのが興味深かった。「とにかく使ってみようー」（221頁）という結論に、敬語も含めた日本語の明るい未来を垣間見る思いがした。題名こそ「小学生対象」だが、内容は高度なものを含んでいゝる。本学の学生一人一人に、ぜひ手にとって貰いたい著述であった。

（二〇〇八年六月二二日、A5版、二三九頁、学習研究社刊）